

Vol.99

さい帯血情報

さい帯血採取のポイント

～年間平均採取量全国一位の産婦人科インタビュー～

さい帯血平均採取量が90ml(全国平均50～55ml)と最多の宮本レディースクリニック院長宮本 博之先生に、さい帯血採取のポイントについてお話を伺いました。



宮本レディースクリニック
院長 宮本 博之 先生
兵庫県西宮市

インタビューで、「一人ひとりの患者さんに対して、1mlでも多く採ってあげた方が、その子に何かあったときに治療の可能性が広がる」と先生は語っており、さい帯血に対するご家族の期待や、生まれてくるお子さまへの想いをしっかりと受け止め、さい帯血採取に取り組んでいただいていることを改めて感じました。(インタビューアール記)

◇年間最多採取量を表彰させていただいた際の様子◇

さい帯血採取のポイント

採取準備

- 針元のチューブ部位をコッヘルで剪み、事前に取りやすい状態にする。(コッヘルの重さで針先が安定し、落としにくい。また、採取直前に針を取りやすい。)
- 採取バッグを分娩台より低い位置に設置した計りの上に置く。(実量60ml以上を目標)

採取直前

- さい帯の捻れを解消して、直線化する。(血流を確保する)
- 消毒はイソジンで行い、ガーゼでふき取る。
- 血管が真っすぐで針が突き抜けにくい部位、血管がよく見える部位で穿刺する。(適していない部位で穿刺すると、さい帯血が漏れる事もある。)

採取

- 赤ちゃん側(下)から穿刺する。
- 出血量を計りながら、じっくり待つ。(目安：5分)
- 採取目安は意識せず、状況が許す限り胎盤娩出まで採取を続ける。

状況に応じた対応

- さい帯を胎盤側(上)にしごき、胎盤側に血流を集めた上で、穿刺部位を胎盤側に変える。